

## 2019 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2020 年 4 月 3 日
研究・研修課題名	島根県下医療安全ネットワークの構築と質の向上に関する研究
研究・研修組織名 (所属)	医療安全管理部 (医療安全管理部)
研究・研修責任者名 (所属)	廣瀬昌博 (医療安全管理部)
研究・研修実施者名 (所属)	遠藤進一 (医療安全管理部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果 ( 県下協力施設へのアンケート調査の実施 )
該当者名 (所属)	遠藤進一 (医療安全管理部)
学会名 (会期・場所)、認定名等	2020 年度発表予定
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

## 目的及び方法、成果の内容

## ①目的

近年、医療安全に関するネットワークの構築を進めることにより、島根県下医療機関における医療安全活動のレベルアップが期待される。一方、わが国で医療安全が開始されて 15 年以上が経過するが、その活動の実態と病院職員の医療安全に対する認識が向上したとの報告はないのが現状である。そこで、本研究では、日本医療マネジメント学会島根支部役員病院を中心に島根県下 54 病院を対象に医療安全に関する実態調査および医療安全文化測定を実施し、今後の医療安全活動に資する情報を提供することが目的である。

## ②方法

本院病院医学教育センターは 2011 年に医療安全の実態調査を、2012 年に医療安全文化測定全国規模で実施している。本研究では、同センターが事務局を務める、日本医療マネジメント学会島根支部を構成する役員病院の 13 施設とともに県下 54 病院を対象に下記のアンケート調査を実施する。

- 1) 医療安全に関する実態調査：病院医学教育センターが厚生労働科学研究による全国調査で用いた調査票をもとに作成した調査票
- 2) 医療安全文化測定：病院医学教育センターが科研費萌芽研究で用いた調査票 (米国政府医療安全機関 AHRQ 日本版)

## ③成果

1. 2) 医療安全文化測定について、島根県内の 49 施設に対して調査の協力依頼を行い、2020 年 2 月までに 24 施設から協力の了承を得ることができた (未回答：14 施設)。
2. 協力の了承を得た 24 施設に順次、アンケート用紙を送付し (送付数：9,978 部)、2020 年 3 月までに 23 施設 7,143 人から回答を得ることができデータ入力を行った (回収率：73%)。
3. 今後は残りの施設から回答を得て、データ分析を実施し、今後の島根県ならびに島根県下各病院の医療安全活動に資する情報について提供する予定である。